

4月25日(土)
10時00分
~11時23分



S
D
G
S
異
画
展

(2020年/アメリカ/83分)

【参加料】無料 【定員】30人(先着) 【会場】スワンホール
【申込受付】3月24日(火)10時から
※電話、FAX、HP、直接来館にてお申込みください。
【一時保育】1歳半以上就学前の幼児対象。
一人1日350円。講座開催日の10日前までに要申込み。



↑HPへはこちらから(携帯電話の機種によって読み込めないことがあります。)

主催・申込み・問合せ

伊丹市立中央公民館(第1・3月曜休館/祝日の場合は翌日)
〒664-0015 伊丹市昆陽池2-1 (スワンホール1階)
☎Tel:072-784-8000 ☎Fax:072-784-8001 (窓口開設時間 9時~17時30分)
🌐HP: <https://www.city.itami.lg.jp/SOSIKI/EDSHOGAI/KOMINKAN/index.html>



「世界中で多くの人々が悲しみに暮れています。ただ、このような状況でも誰かが自制を呼びかけねばなりません。

この国は悲しみに沈んでいます。

深く悩み抜いた上で——
決議案への反対を決意しました。」

—— パーバラ・リー

2001年同時多発テロ後、大統領に武力行使を一任する決議案採択前のスピーチ



社会正義のために信念を貫く姿勢は

党派を超え、共感を呼んだ

無制限の大統領権限に 反対票を投じた信念の人

2001年アメリカ同時多発テロ後、報復のために大統領が議会の承認無しに戦争を始めることができるという武力行使容認決議に、ただ一人反対した下院議員がいた。彼女の名はパーバラ・リー。報復感情一色に包まれていた当時のアメリカで、武力行使の抑制を求め、議会在大統領に白紙委任状を与える決議に誓固として反対したのだった。裏切り者と非難され、殺害予告すらあったが、徐々にリーの勇気を支持する声が届き始める。作家のアリス・ウォーカーや俳優のダニー・グローヴァー、地元の支援者らが彼女を支えた。本作では「民主主義の根幹には異議を唱える権利がある」と、長年民主主義的な政治姿勢を貫く彼女の姿を追う。



さまざまな分断を乗り越え、 社会正義を実現するために

ブラックパンサー党のボランティアからキャリアをはじめたリーは、連邦議会でまだ数少ないアフリカ系女性議員の一人である。「人種差別と社会正義の問題は、生まれた時から私に深く関わっている」と、人種差別、貧困、教育、ドラッグなど多岐に渡る政策課題を掲げ、人々の声に真摯に耳を傾ける一方、HIV・エイズの問題には党派を超えグローバルな対策を遂行し、ブッシュ大統領（当時）にも協力を求めるなど、真の問題解決と社会正義の実現を目指している。また、黒人女性として初の大統領選にも出馬したシャーリー・チザムや、師と仰ぐロン・デルムズ下院議員の意志を継ぎ、後進の育成にも尽力している。



「戦争に反対したパーバラを誇りに思いました。平和と正義に貢献したのです。彼女の行動は、人々に向けた大きな贈り物でした。
“信念を貫いてもいい” “声を上げてもいい” と証明したのです。」

アリス・ウォーカー（作家 著作『カラー・ブルー』）

「人々は彼女を議員よりも友人であり、自分たちの代弁者と考えています。彼女の言葉は単なる言葉ではなく、人柄そのもの。」

エリフ・ハリス（オーランド・タイムズ 1991-1999年）

パーバラ・リーの闘い - 無力を恐れず勇気を出して

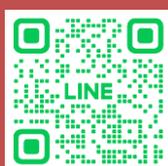
監督：アビー・モンズバード 脚本監修：ジェナキヤ・ローガン 監修：スティーヴン・ソダーバーグ、アリス・ウォーカー
制作：Cinéma Productions 監製：ユナイテッド・ピープル 配信：アメリカ/2020年/ドキュメンタリー
© 2020 CINEMA PRODUCTIONS <https://www.cinema.info/jp/>



映画の上場企業主催映画！
詳しくは cinema.info/jp/
お問い合わせ info@unitedpeople.jp



「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015年9月に国連サミットで採択されました。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。「SDGs映画会」では、その目標をテーマとした映画の上映会を開催しています。



友だち募集中

ご来館に際してのお願い

- 体調不良の症状がある方は、来館をご遠慮いただきますようお願いいたします。咳エチケットをお守りください。
- 講座開始1時間前に伊丹市で各警報が発令されている場合、中止となります。
☆講座の参加について、介助等の配慮が必要な方はお気軽にご相談ください。